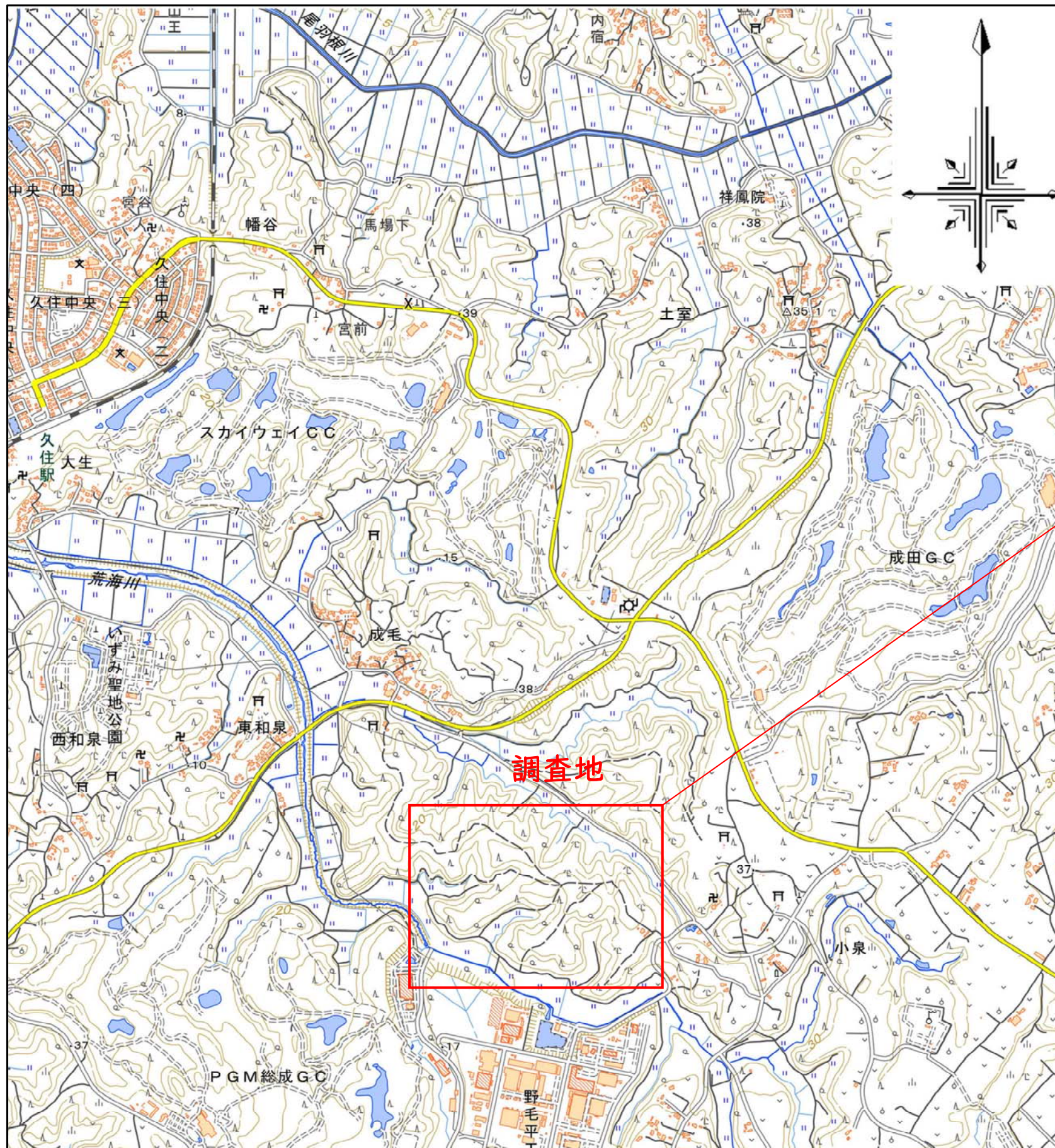


資料6 温泉調査結果概要版



事業計画地

図1 調査位置図(S=1/25,000)

2.地形・地質

新清掃工場関連付帯施設温泉調査業務委託(令和6年8月)

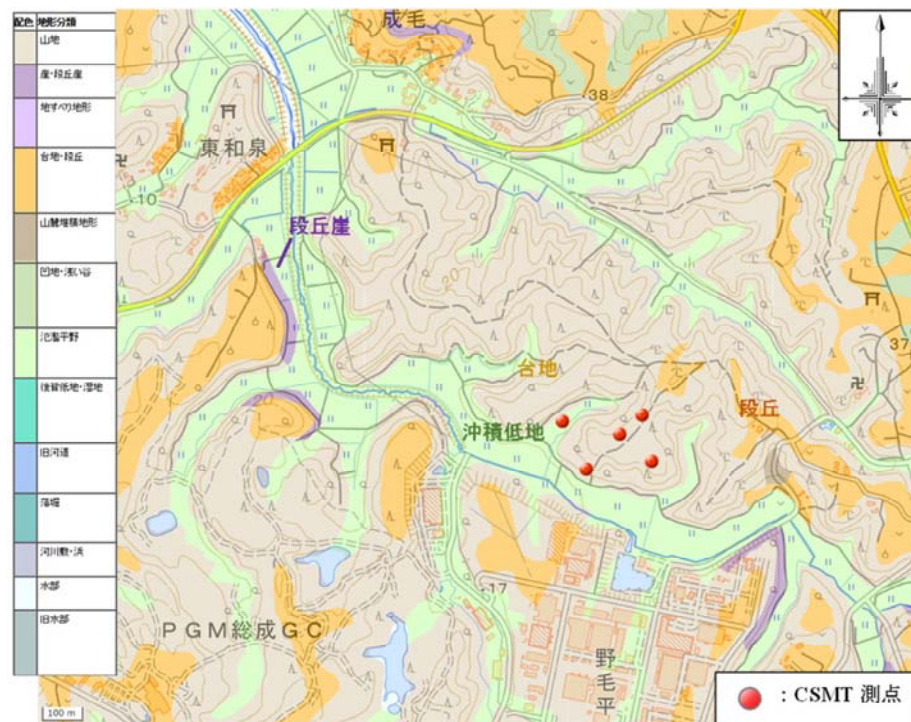


図2 地形分類

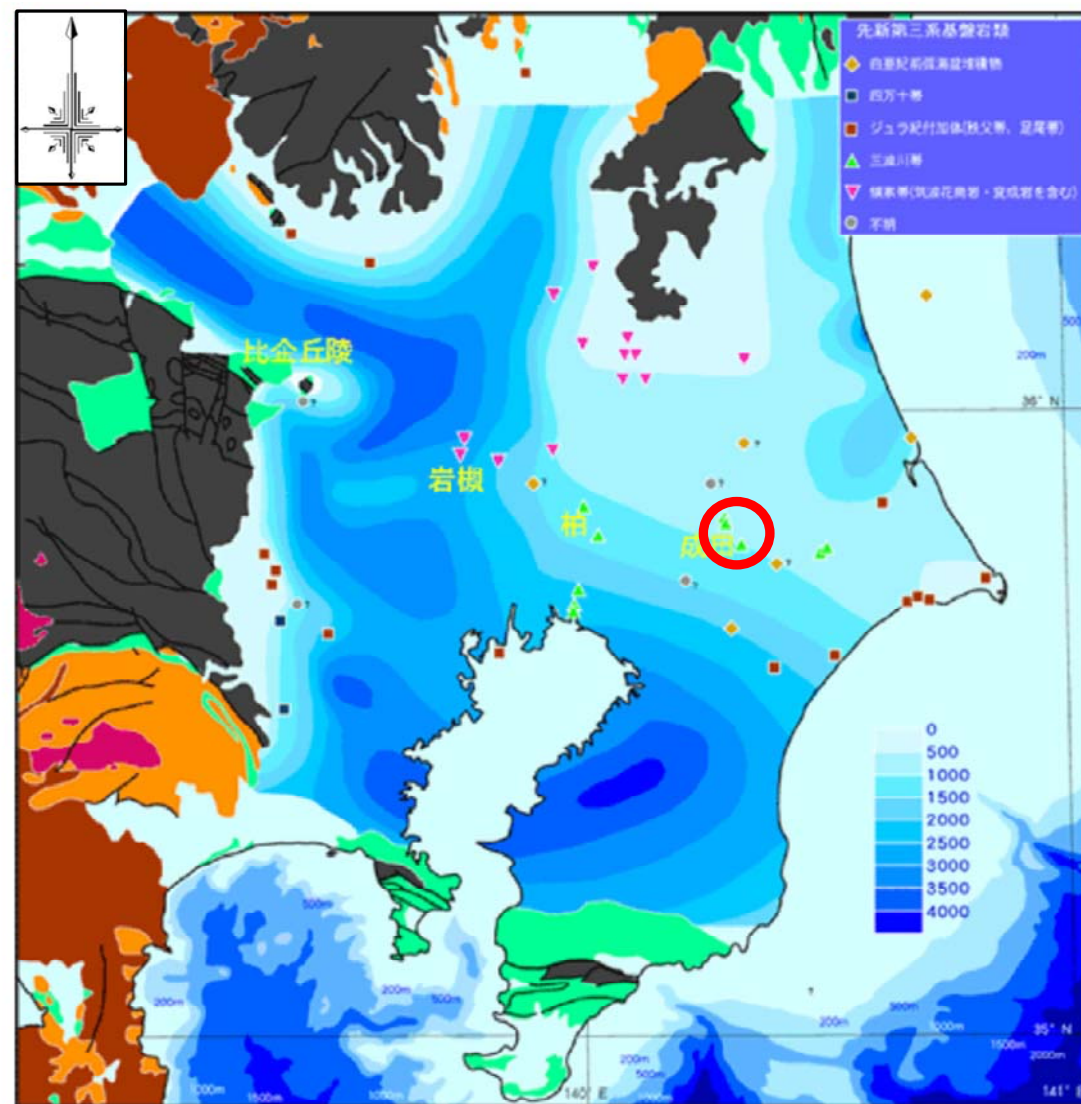
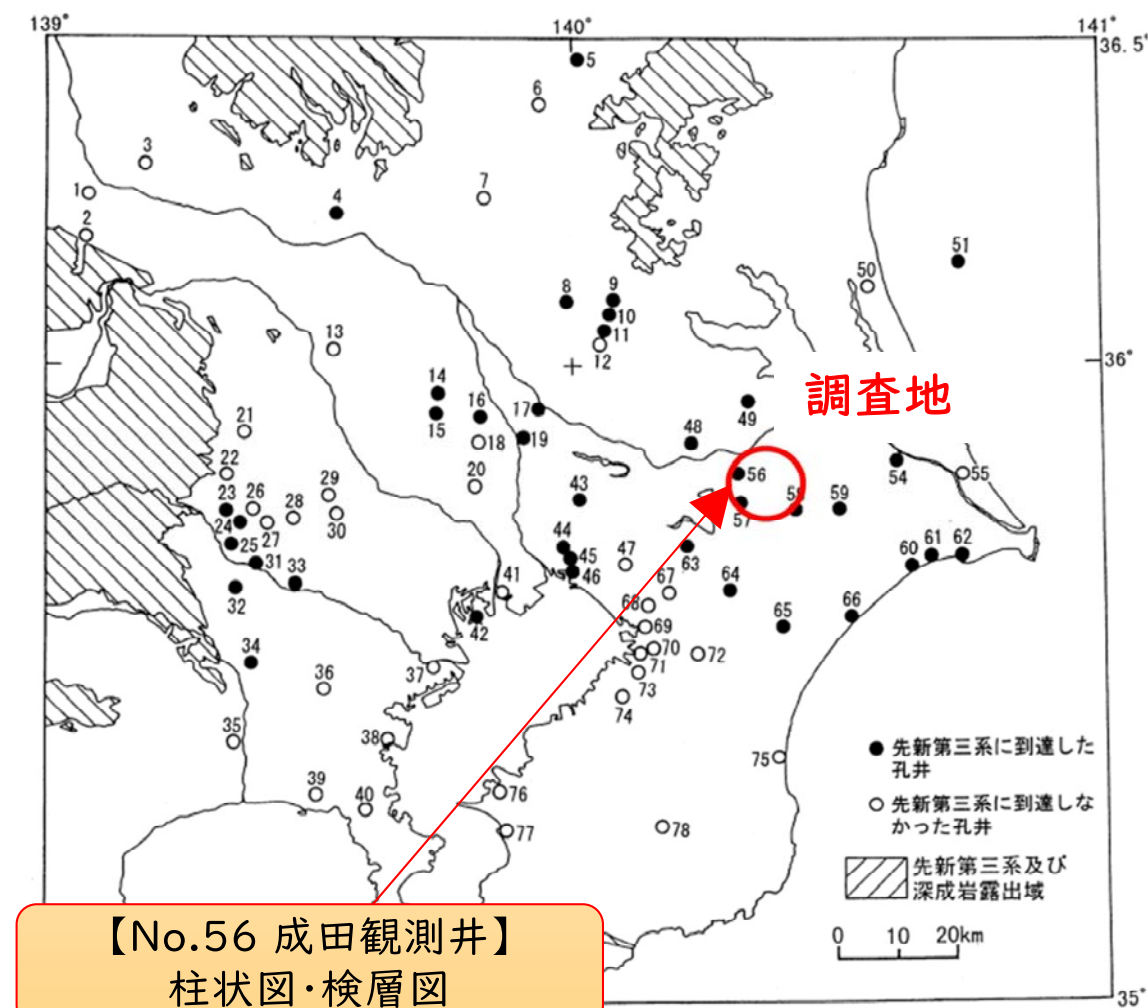
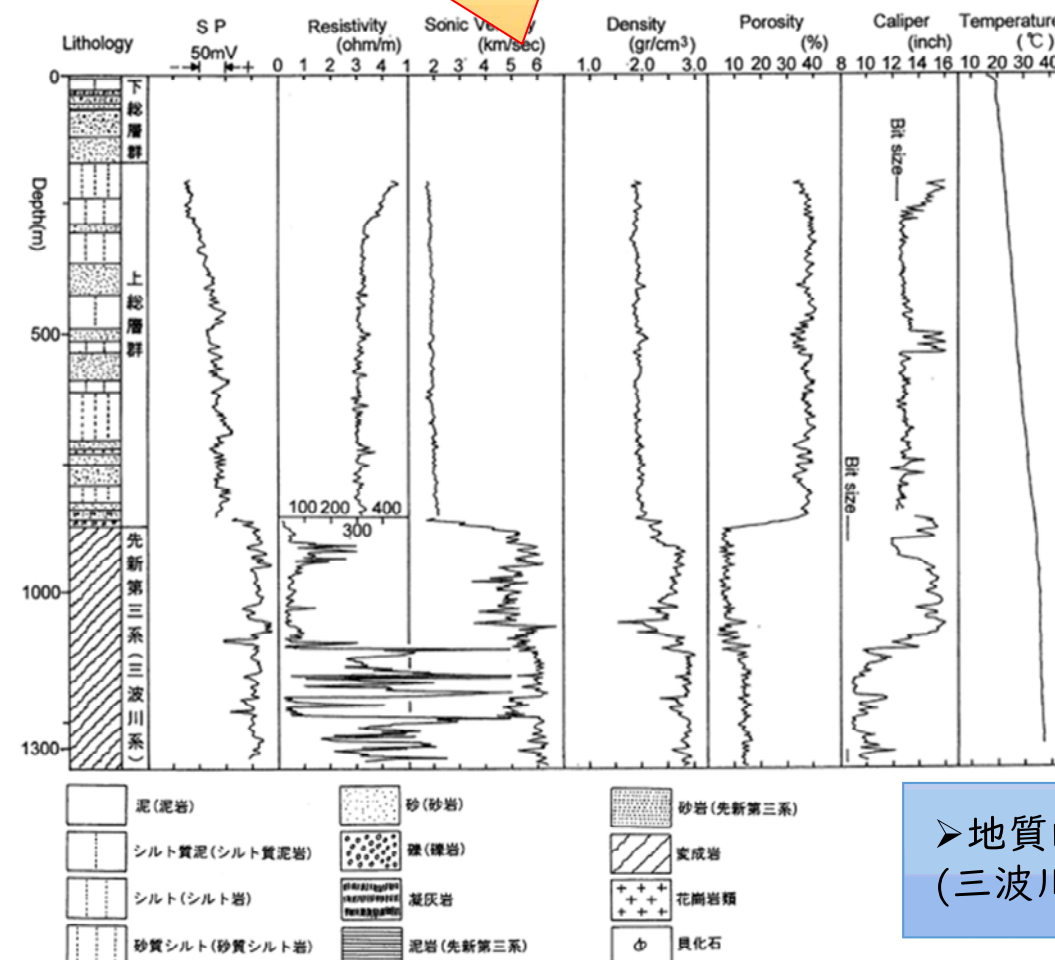


図3 先新第三系基盤岩深度(※)

(「関東平野地下深部に特定された中央構造線」(産業技術総合研究所2006年2月掲載)より引用)



【No.56 成田観測井】
柱状図・検層図



➤地質的基盤面は先新第三系
(三波川系)の変成岩

3.調査結果・まとめ

新清掃工場関連付帯施設温泉調査業務委託(令和6年8月)

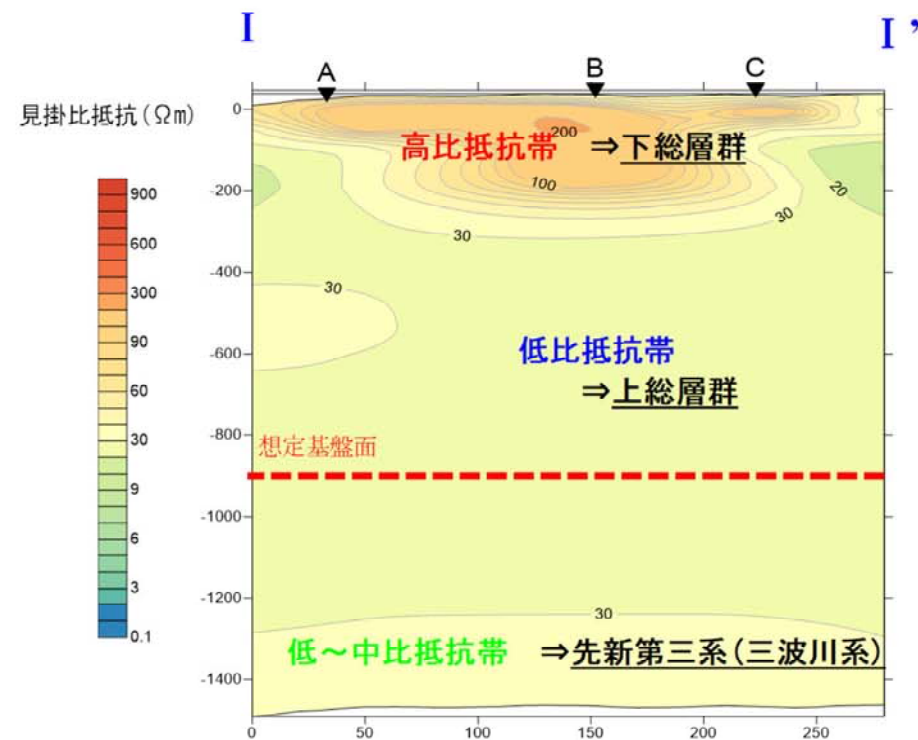


図5 CSMT探査結果

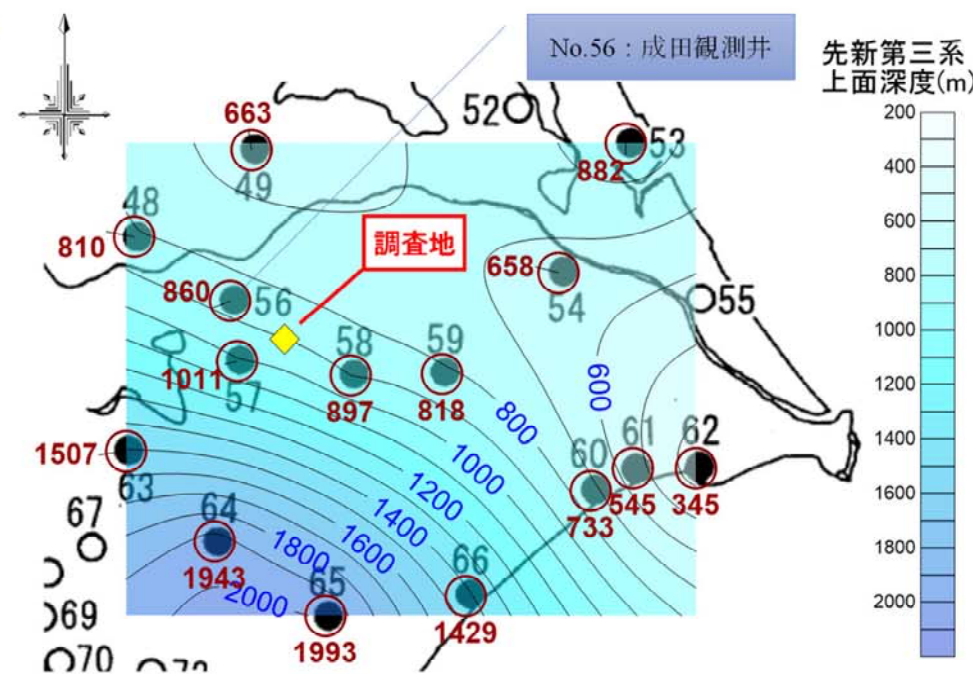


図4 先新第三系上面深度等高線図

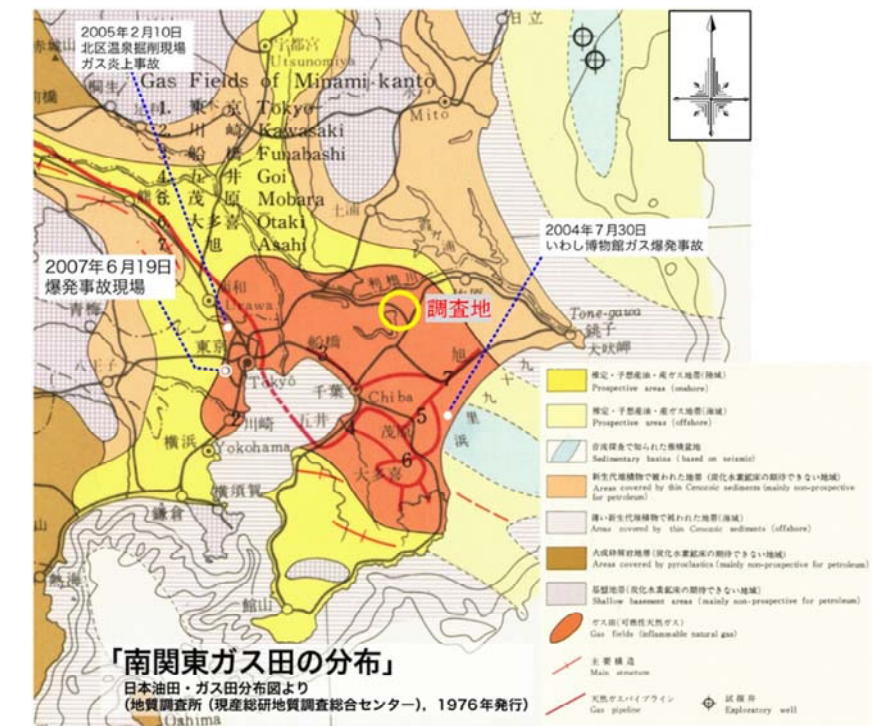


図5 南関東ガス田の分布

- 調査地の地質構造は概ね一様であると想定される
- 基盤面深度は900mと想定される

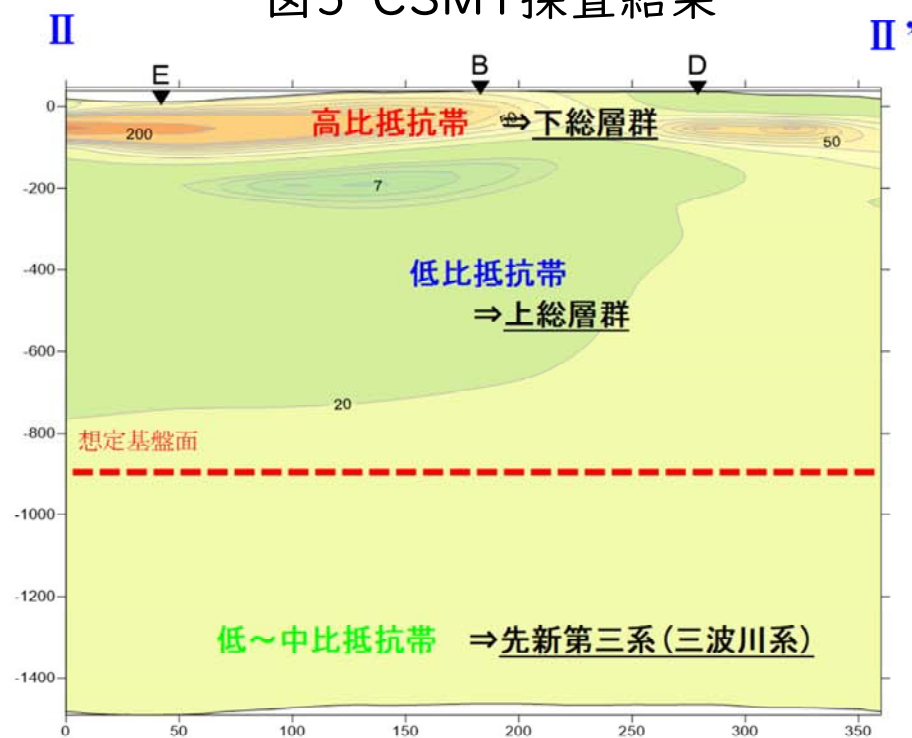


表1 調査地周辺の温泉一覧

温泉地名(市町村名)	井戸深度(m)	源泉温度	湧出量(L/min)	主たる泉質名
大和の湯(成田市)	不明	25度未満	120	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉
成田温泉(成田市)	不明	25度未満	150	含よう素-ナトリウム-塩化物強塩泉
成田空港温泉 空の湯(芝山町)	不明	25度以上 42度未満	266	含よう素-ナトリウム-塩化物強塩泉

(千葉県HP: <https://www.pref.chiba.lg.jp/yakumu/gyouseigaiyou/>)

- 本調査は、調査地における地層構造を把握するための調査であり、直接的に温泉の湧出量および泉温・泉質を評価するものではないことに留意されたい
- 掘削位置は、事業計画地内は一様の地層構造を示すため、事業計画に合わせて選定されたい
- 基盤面深度は900mと想定されるが、調査地周辺は基盤面が変曲点付近に位置すると考えられるため、掘削深度は1,000mを提案する
- 既往資料および既設温泉データより、泉温は30度前後と想定され、泉質は「含よう素-ナトリウム-塩化物強塩泉」、湧出量は120~266L/minと想定される
- 調査地付近はガス田が確認されているため、掘削、揚水施設設置にあたっては、可燃性ガスの存在に留意されたい